

「東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）整備事業」

— 施設設計業務公募プロポーザルの結果について —

埼玉県及び春日部市は、このたび、東部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）整備事業において、設計者の選定を公募プロポーザル方式により実施しました。

整備予定の施設は、地域産業の振興や地域住民の交流・活動を促進する複合拠点施設です。

施設整備の基本コンセプトは、「『都市の森』の創造～埼玉県と春日部市が提案する未来建物～」であり、省CO₂の最先端モデルとしてこれからの公共施設を先導し、緑と人がふれあい、魅力的なまちづくりのシンボルとなる施設を目指しております。

設計者の選定にあたり、応募者7者から寄せられた提案書について、まず、資格審査及び一次審査を実施しました。

次に、学識経験者等により構成される審査委員会において二次審査を実施し、厳正かつ公平な審査により各提案書の中から最適案が選定され、埼玉県及び春日部市は次のとおり契約予定者を決定しました。

1 契約予定者

名 称 株式会社 山下設計
所在地 東京都中央区日本橋小網町6番1号
代表者 代表取締役 森 暢郎

2 公募プロポーザルの経過

- (1) 公募開始 平成21年7月10日（金）
- (2) 質問回答 7月14日（火）～17日（金）
- (3) 応募締切 7月23日（木） 応募者7者
- (4) 資格審査及び一次審査 7月23日（木）～27日（月）

設計実績、技術者数、業務実施体制、工程計画等についての審査、技術提案書の形式審査を行った。その結果、応募者7者すべてが審査基準に適合した。

- (5) 二次審査（審査委員会）8月4日（火）

ア 審査項目

- ① 施設の配置及び機能性、デザイン、シンボル性
- ② にぎわいづくりと緑化
- ③ ライフサイクルコスト(LCC)、ライフサイクルCO₂ (LCCO₂) の削減
- ④ 自然エネルギー、新エネルギー導入による啓発

イ 審査経過

各応募者の技術提案についてヒアリングを行い、審査項目ごとに採点をし、以下のとおり、総得点の多い順に最適案、次点案を選定した。

応募者名	総得点（400点満点）
(株) 山下設計	345 最適案
応募者 a	327 次点案
応募者 b	318
応募者 c	314
応募者 d	313
応募者 e	307
応募者 f	185

3 最適案についての審査委員会の評価

(1) 総評

- ・ 4つの評価項目のうち3項目で最も高い評価

(2) 評価のポイント（審査項目ごと）

① 施設の配置及び機能性、デザイン、シンボル性

- ・ 線路側から館内の活動を見通すことができること、線路側に豊富な植栽を配置する考え方が示された。

② にぎわいづくりと緑化

- ・ 低層階に多目的ホールを配置し、屋外広場との一体的な利用が可能なにぎわいづくりの工夫が示された。

③ ライフサイクルコスト(LCC)、ライフサイクルCO₂(LCCO₂)の削減

- ・ 平面計画のコンパクト化、実績に基づいた実現性のある省エネ技術の採用、設計終了後の性能検証などにより、LCCの32%削減、LCCO₂の48%削減を確実な形で提案している。

④ 自然エネルギー、新エネルギー導入による啓発

- ・ 地下水位が高い現地の状況に注目した井水、地中熱などを複合的に利用した斬新な空調設備の提案がされている。

- ・ 太陽光など自然エネルギーの活用状況や環境負荷削減効果などを表示し、利用者に見えることで環境に対する啓発効果を高める提案がされている。

(3) 審査委員（敬称省略）

伊藤 庸一 ・ 日本工業大学工学部教授
 高村 淑彦 ・ 東京電機大学工学部教授
 藤尾 勉 ・ 埼玉県都市整備部設備課長
 横山 利夫 ・ 春日部市都市整備部次長

4 今後の予定

今後、契約予定者と契約協議を行い、8月中に設計業務委託契約を締結する予定です。平成21年度末までに設計を完了し、施設のオープンは平成23年7月を予定しています。